

2010年 メキシコの経済回復

メキシコと日本
チャンスの拡大



2010年2月 メキシコ大統領府

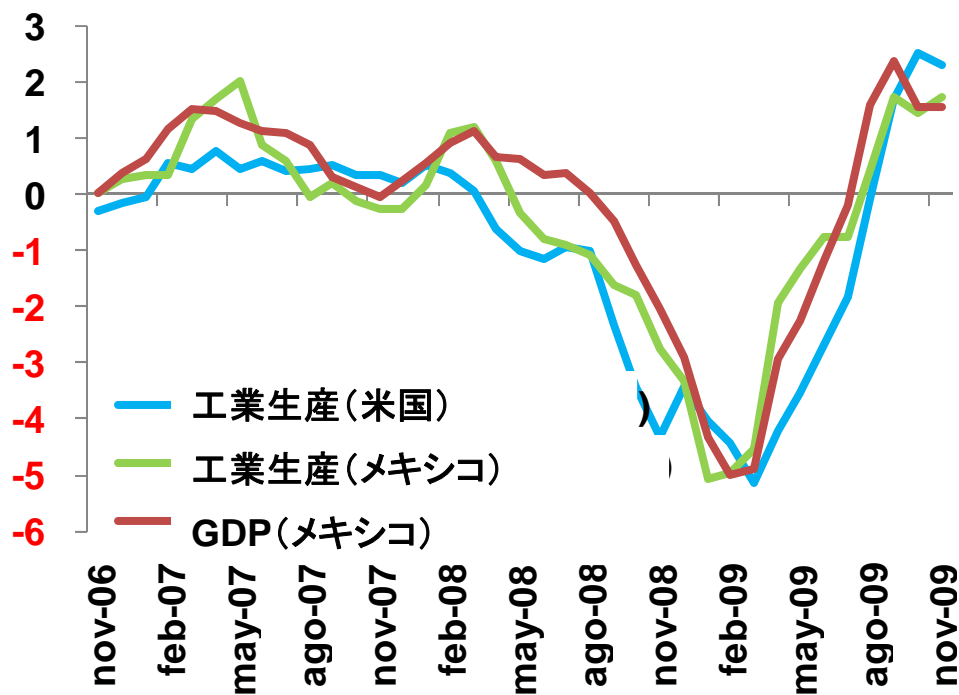
PRESIDENCIA
DE LA REPÚBLICA

メキシコ経済



- 困難を極めた2009年を経て、メキシコ経済は米国の工業生産が示す反転に同調する形で、回復の兆候を示しつつある。

GDPと工業生産: メキシコ - 米国
(四半期ベース変動率%)



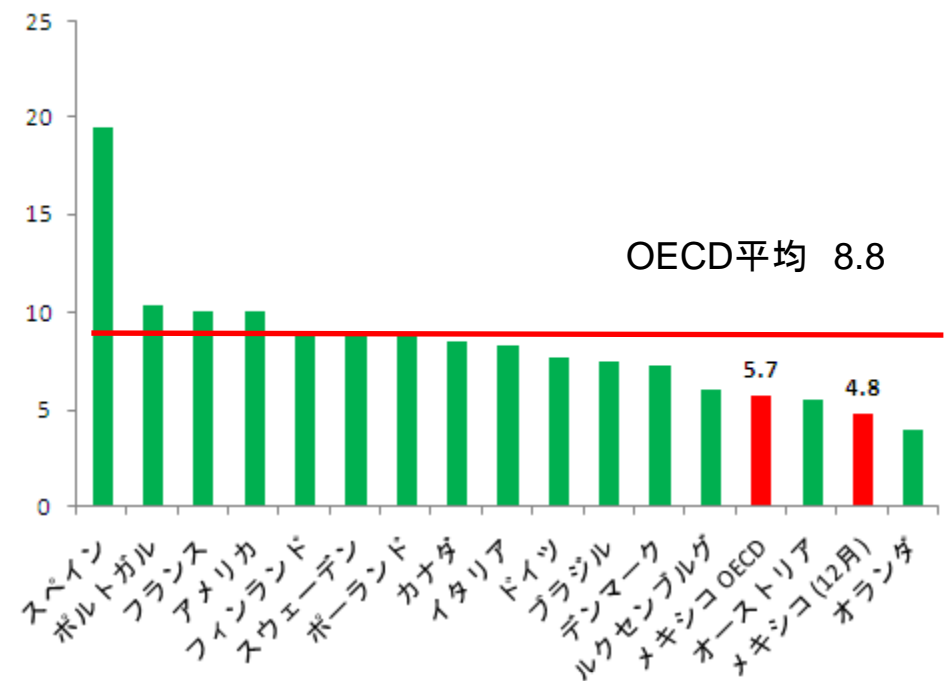
雇用の保護と回復

- 数千人分の雇用を保護した。

- **技術者雇用保護プラン**
直接助成金を介して、輸出指向型の雇用や高度熟練工の雇用を保護
- **一時(期間)雇用プログラム**
失業者をコミュニティ地域に資する仕事に従事
- **企業への金融支援**
企業の資金流動性を高めて、雇用創出能力を増大させる



OECD集計の失業率
(%, 2009年11月集計値)

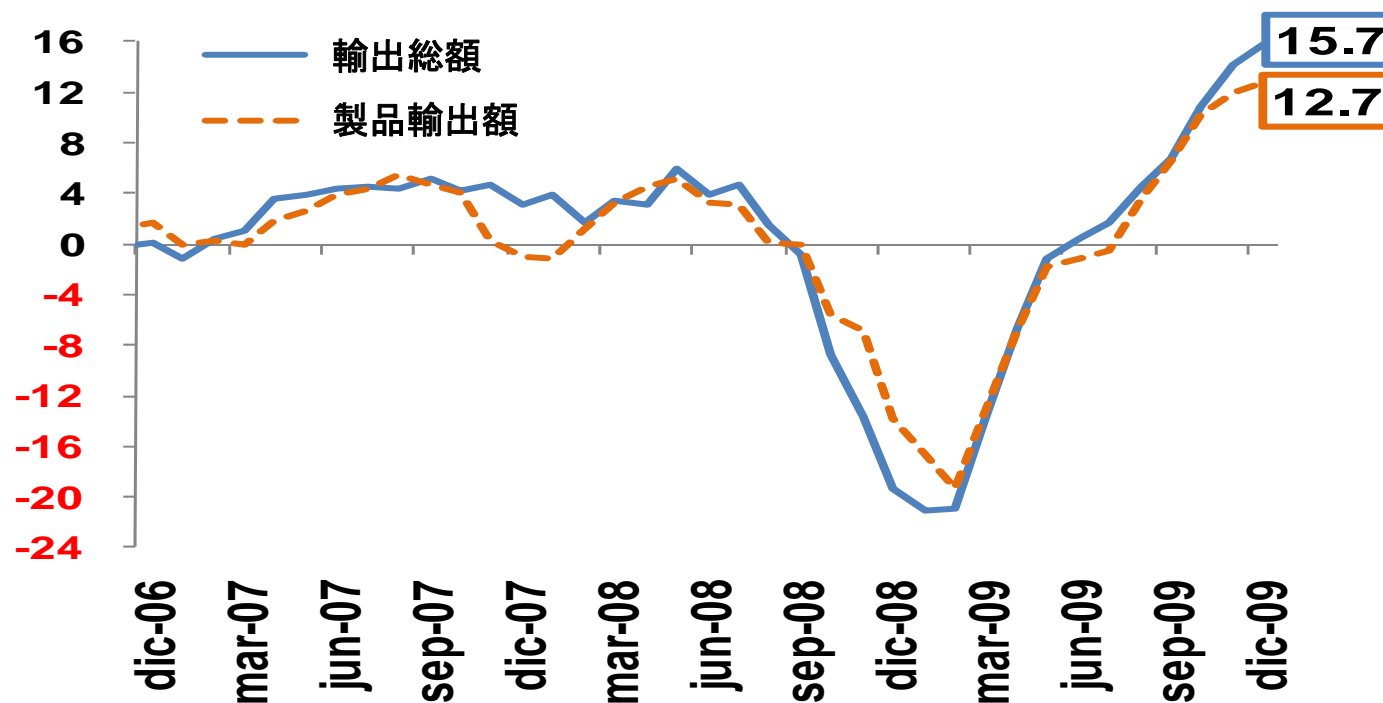


経済回復の原動力

- メキシコ経済の回復は活発な国外需要に支えられている。その一方では、国内需要が安定性を維持している。



輸出総額
(四半期ベース変動率,%)

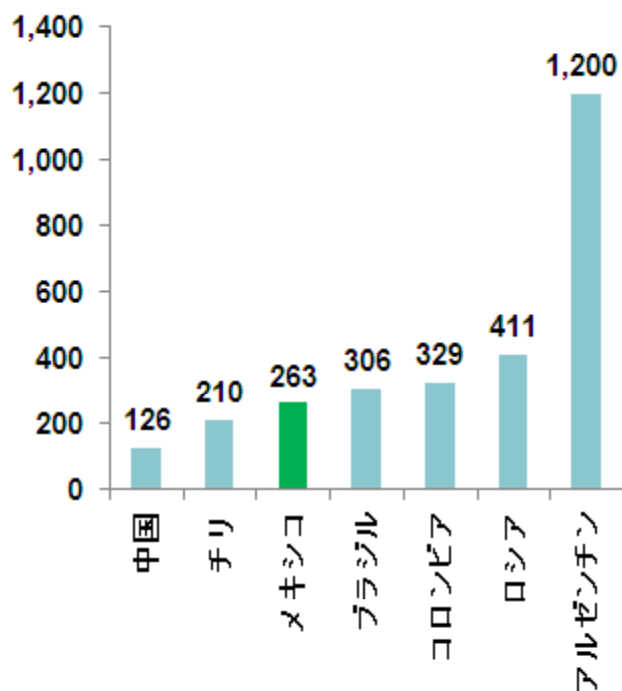


マクロ経済の安定性

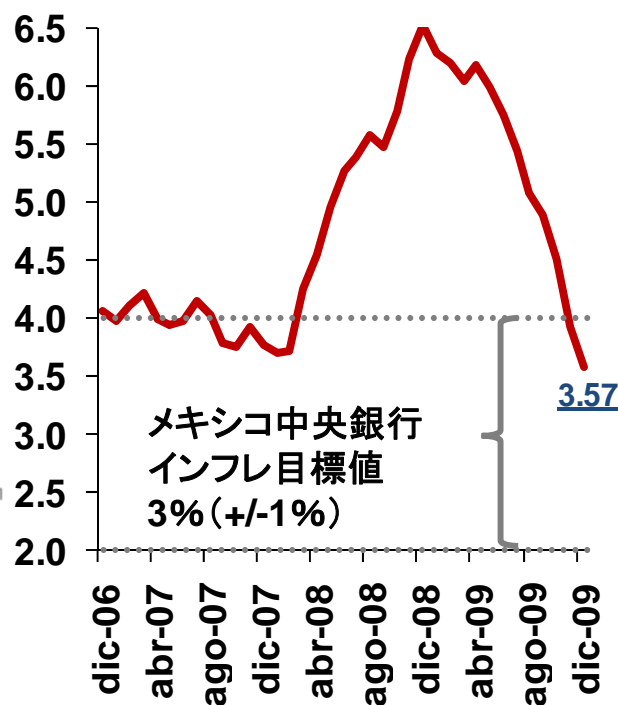
- 新興市場諸国間の比較でもメキシコの各指標は堅実さを示す。**2009年のインフレ率は3.57%**。為替相場も安定的に推移。



カントリー・リスク: EMBI Global
(基準ポイント, 2009年平均)



インフレ率
(変動率, %年率換算)



為替相場(名目)
(対ドル ペソ相場)



出所: JP Morgan.

出所: Banco de México(メキシコ中銀)

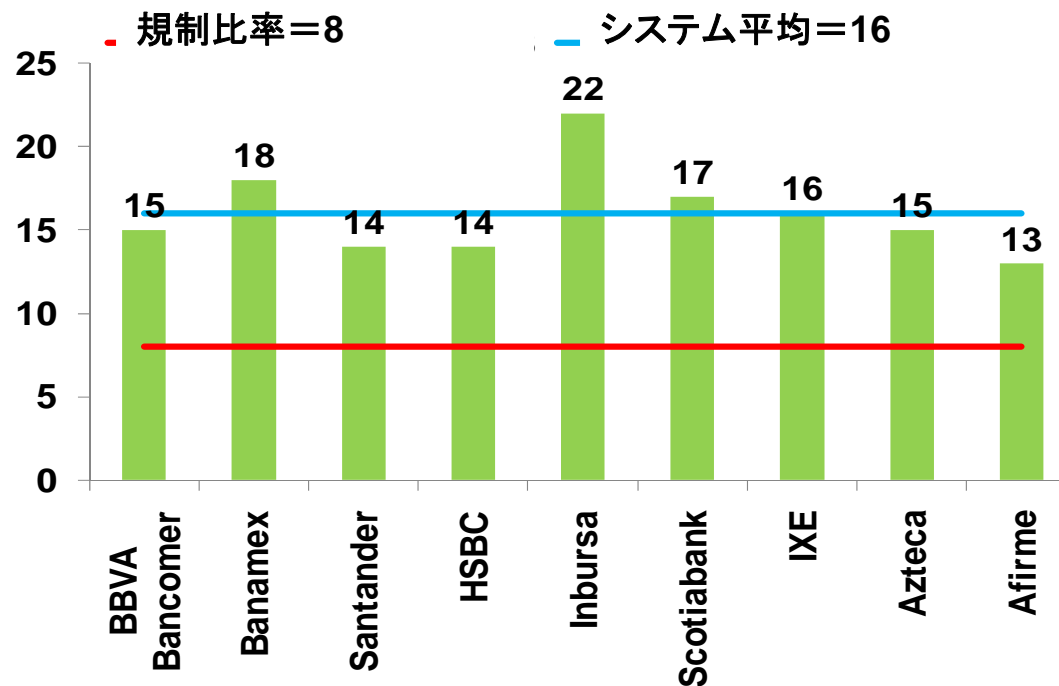
出所: ロイター

銀行システム

- 銀行システムは資本強化を進めており、金融市場への参画を増大するチャンスを抱えている。



銀行システムの資本強化
(資産に対する資本の比率, %)

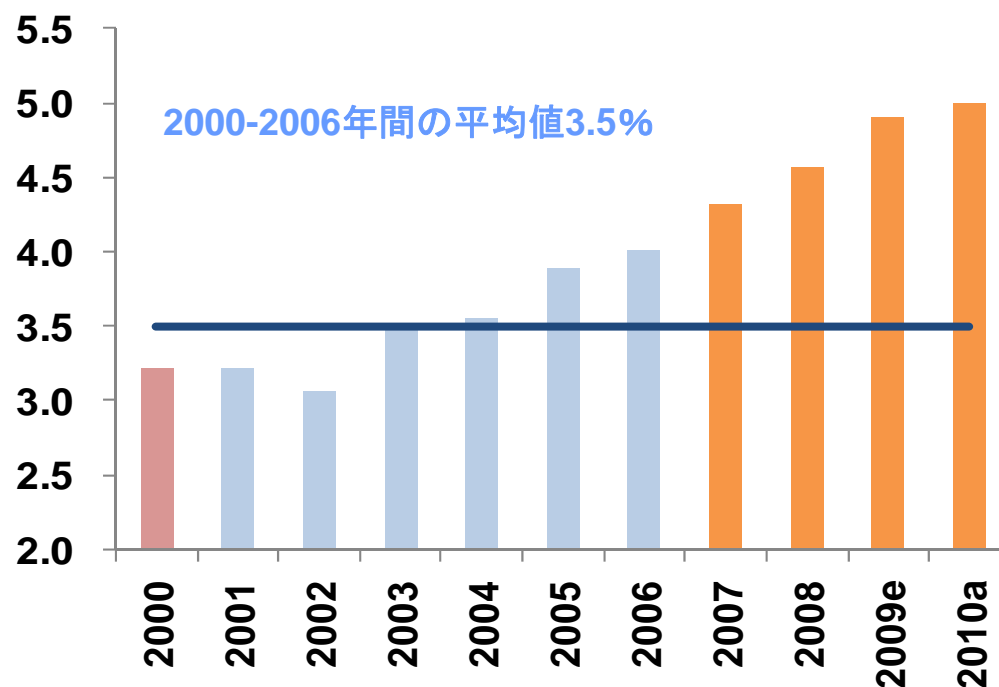


投資の促進

- 2010年には、インフラ整備関連投資で、史上最高額が記録される見込み。経済開発を促進する上で戦略的な分野のプロジェクトが主役



投資実績
(対GDP比, %)

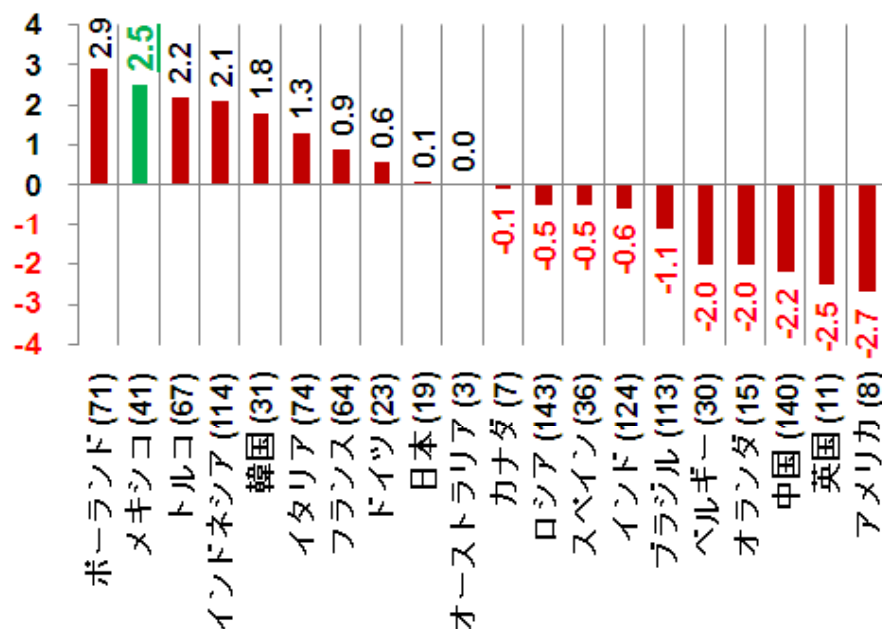


経済環境の改善

- FDI(外国からの直接投資)の誘致促進に向けて、経済環境の整備を推進



経済自由化指数
(主要20カ国の指数評価比較表)



FDI対象国魅力度
(ランキング)

国名	2010年 順位	2007年 順位	変化
中国	1	1	0 =
アメリカ	2	3	1 ↑
インド	3	2	-1 ↓
ブラジル	4	6	2 ↑
ドイツ	5	10	5 ↑
ポーランド	6	22	16 ↑
オーストラリア	7	11	4 ↑
メキシコ	8	19	11 ↑
カナダ	9	14	5 ↑
英国	10	4	-6 ↓

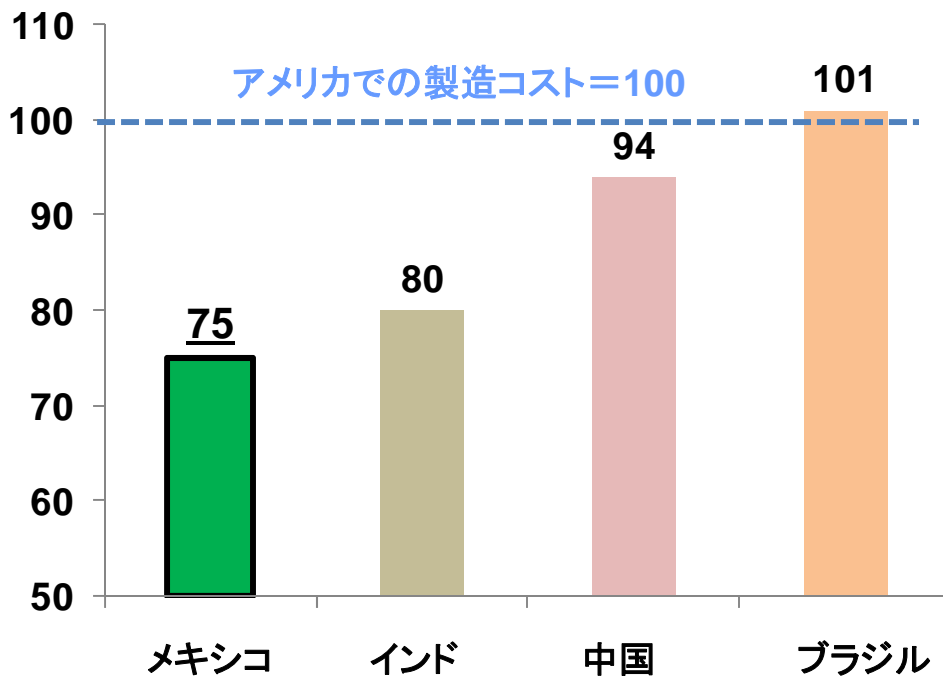
魅力的な製造コスト

- メキシコの製造コストは、ブラジルや中国、インドのそれよりも低い。(国際的コンサルタント会社の調査結果)



製造コスト指数

(米国の生産コストを100とした場合の比率, %)



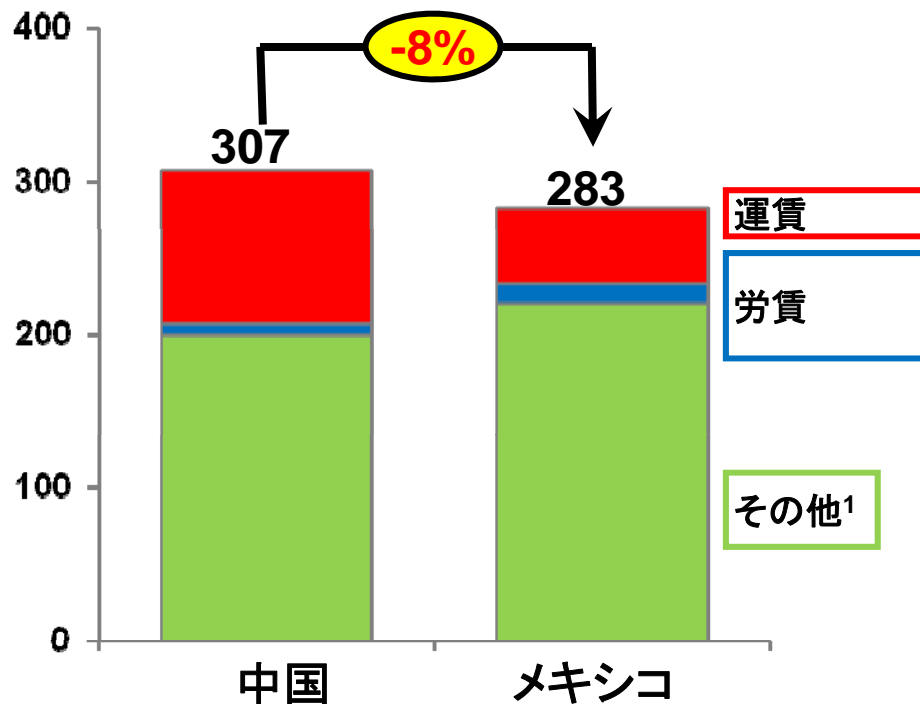
製造コストによる順位の変化	
(ローコスト順)	
2005	2008
1 中国	1 <u>メキシコ</u>
2 インド	2 インド
3 <u>メキシコ</u>	3 中国
4 ブラジル	4 アメリカ
5 アメリカ	5 ブラジル

輸送コストと貿易

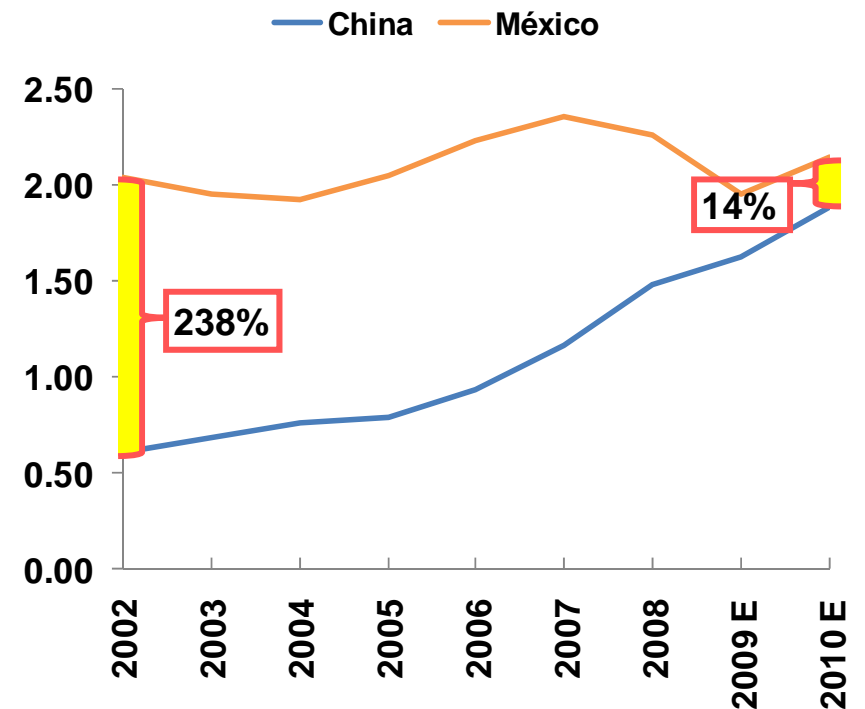
- 生産コストと製品輸送コスト: 両面にメキシコの優位性



米国での冷蔵庫販売コスト
(単位:ドル, 2009年)



製造部門の時給
(単位:ドル)



出所: Boston Consulting Group. 1. 原料, 償却, 電力, 料金. 注: ユニッ ト当たり男性4時間を想定. 出所: ILO, SHCP推計値. (E).

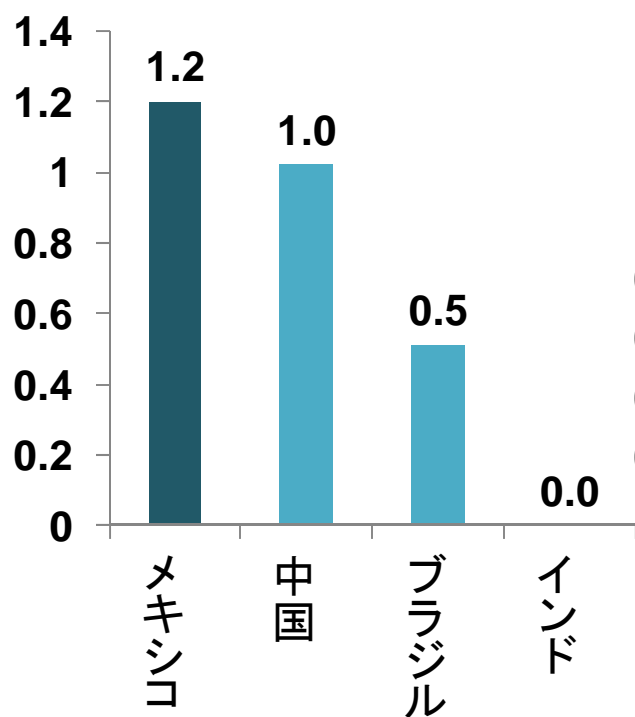
競争力

- メキシコ: 投資・輸出に多大なチャンスを提供する国



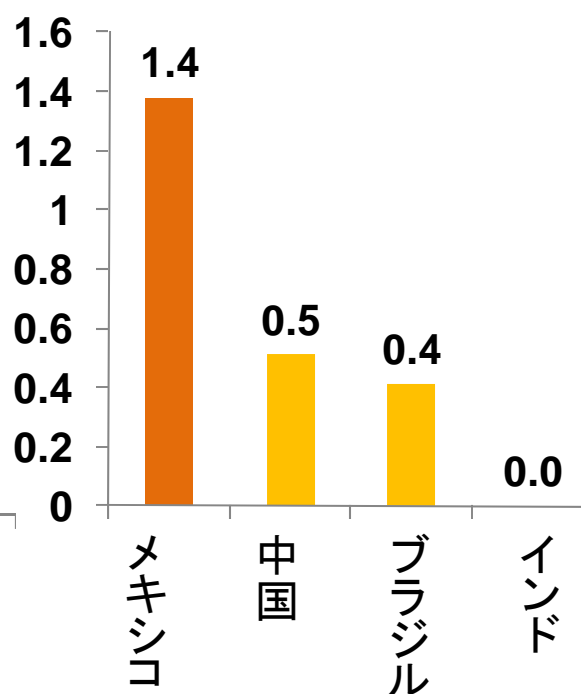
オペレーション・コスト

(指数*, 数字の大きさが競争力の高さを示す)



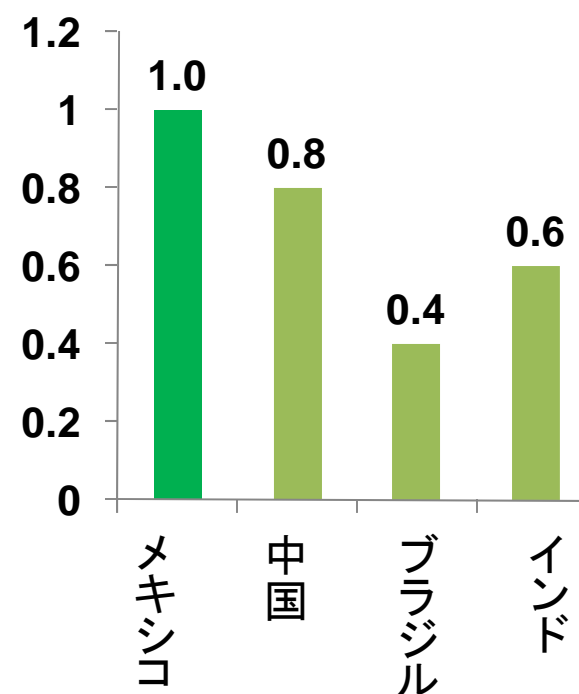
輸送コスト

(指数*, 数字の大きさが競争力の高さを示す)



マクロ経済の安定性

(指数*, 数字の大きさが競争力の高さを示す)



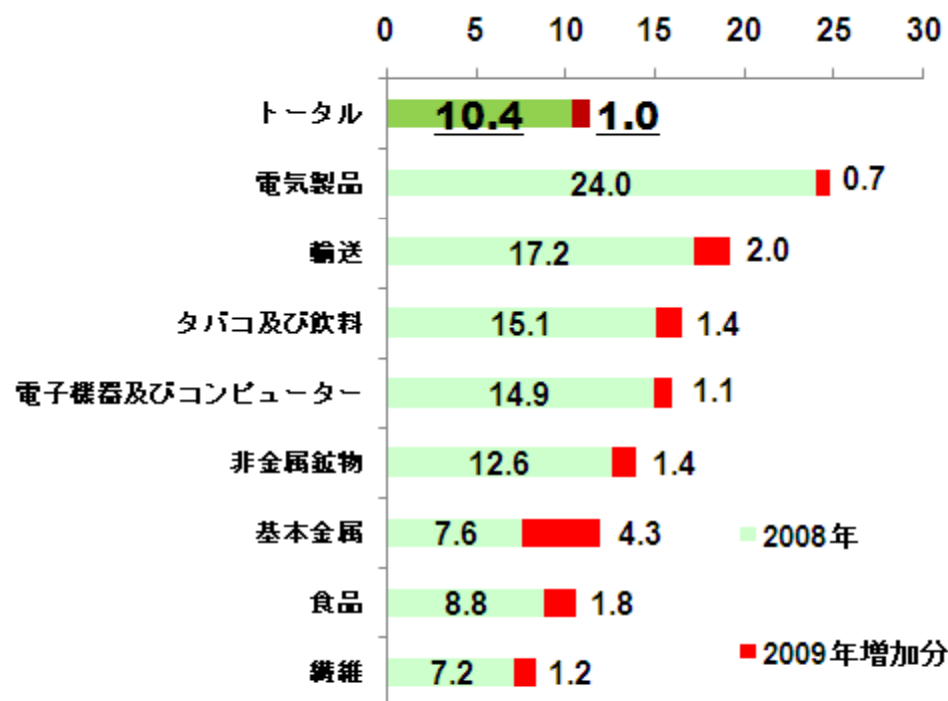
出所: Boston Consulting Group / 注:* 1 は10カ国の平均値で、0 はパフォーマンスで最下位の国。インドは二つの表で最下位。

米国市場でのシェア強化

- メキシコの比較優位性が向上したことで、米国市場でのシェアが10%上昇



米国の製品輸入に対するメキシコの貢献度
(%, 輸入総額との比較)

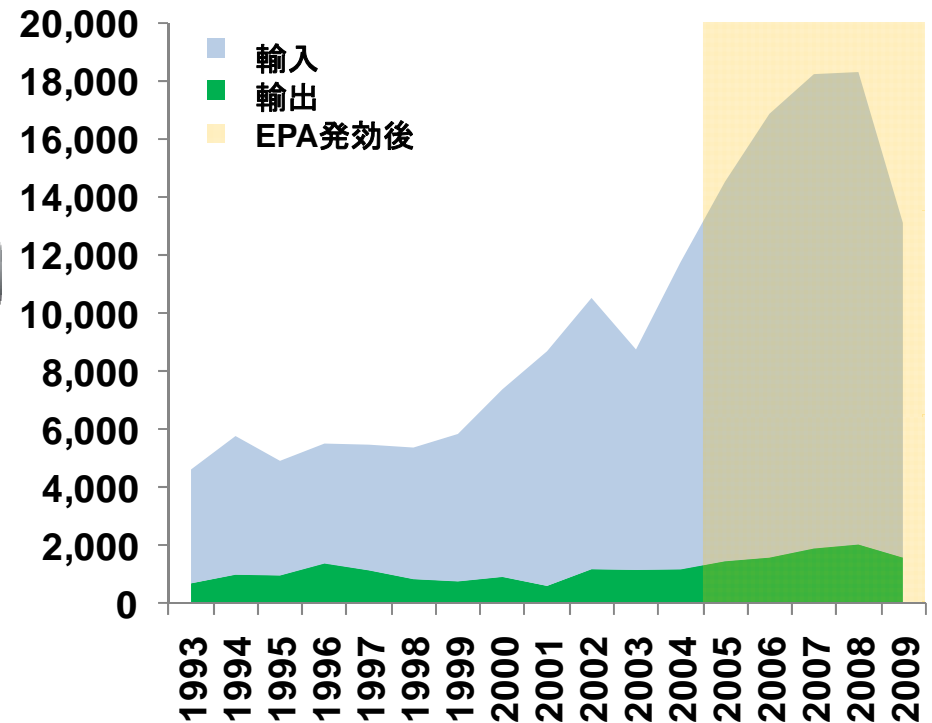


成功の歴史：メキシコ－日本

- 2005年発効のメキシコ日本経済連携協定(墨日EPA)によって、二国間貿易は増大。その原動力は製品の対米輸出。



メキシコ・日本間の貿易総額
(単位:百万ドル)



構造改革

- **二つの財政改革**: 国家財政の歳入増加、歳出の効率・透明性が改善
- **公的部門の年金**: 納入給付制度を個人口座制度に転換。この改革で政府支出がGDP比約30%節減された。
- **エネルギー改革**: 石油産業の改革。探査と生産に特化した高度技術の資本を受け入れる形でPemexに対する投資の機会拡大。
- **国内中央部電力会社の清算**: 年間40億ドルの損失を計上していた国営企業に注入されていた公的資金を節約。
- **政治改革**: 提案済みの改革が実現すれば、市民参加は強化され、民主化プロセスが前進。



今後の課題



- **国家の将来を見据えた抜本的改革に着手(2009年9月)**
以下にその成果を列挙する。
 - 国家財政
 - 公共企業の効率性改善
 - 規制の簡素化
 - 組織犯罪の撲滅
 - 新世代の政治改革・経済改革
 - インフラ整備関連投資
- **同時に、貧困の削減・保健サービス受益率の引き上げ・教育の質的向上、電気通信分野と労働市場の改革も推進中**

2010年 メキシコの経済回復

メキシコと日本
チャンスの拡大



2010年2月 メキシコ大統領府

PRESIDENCIA
DE LA REPÚBLICA

添付資料



2010年2月 メキシコ大統領府

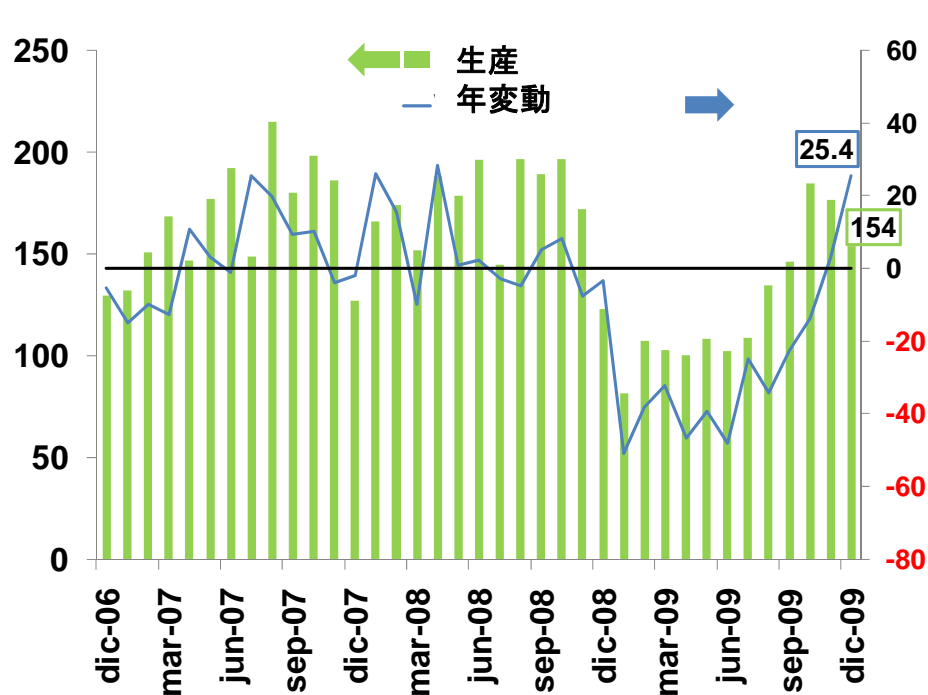
PRESIDENCIA
DE LA REPÚBLICA

工業生産の展望

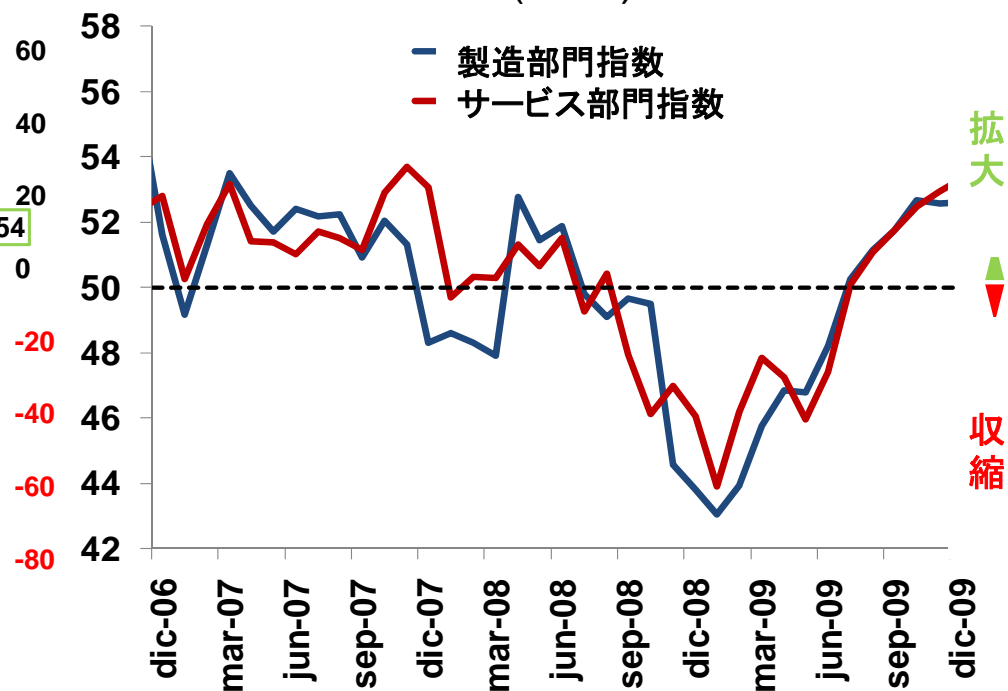
- 国外需要の増加に連動して、自動車部門が回復
- 工業部門とサービス部門は景気回復に関して楽観的



自動車生産
(単位:千台, 変動率:%, 年率換算)



工業部門とサービス部門
に関する期待指数¹
(指数)

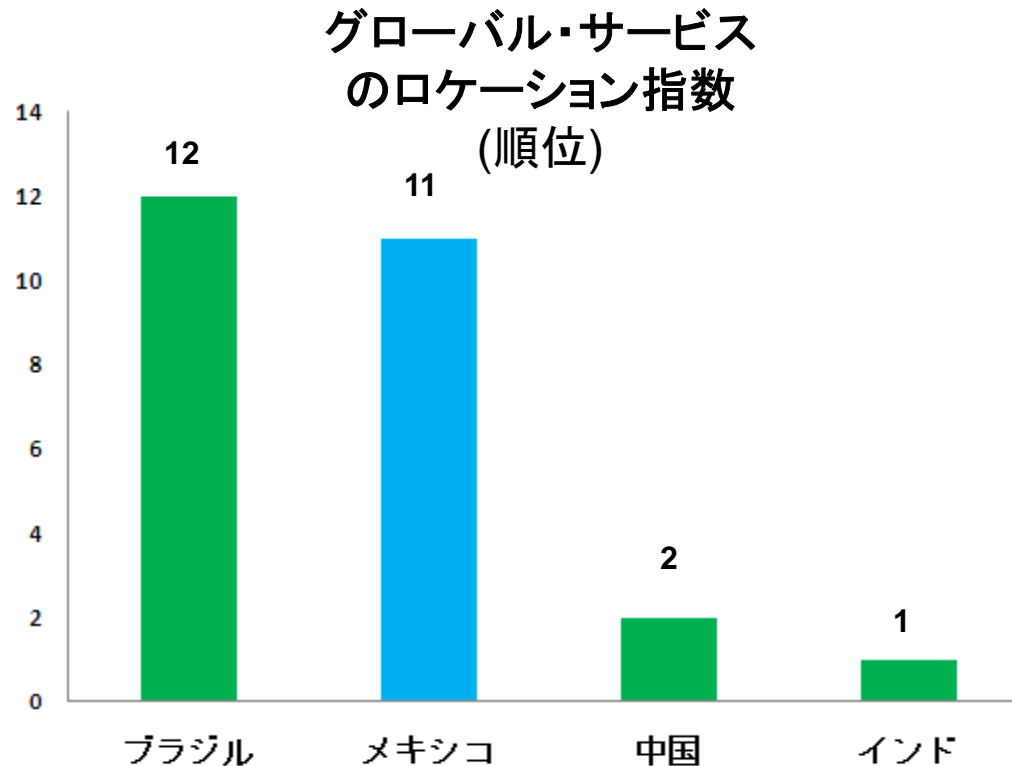


出所: AMIA (メキシコ自動車産業協会)

出所: IMEF. 1. この指数は、ISM受注率と比較可能

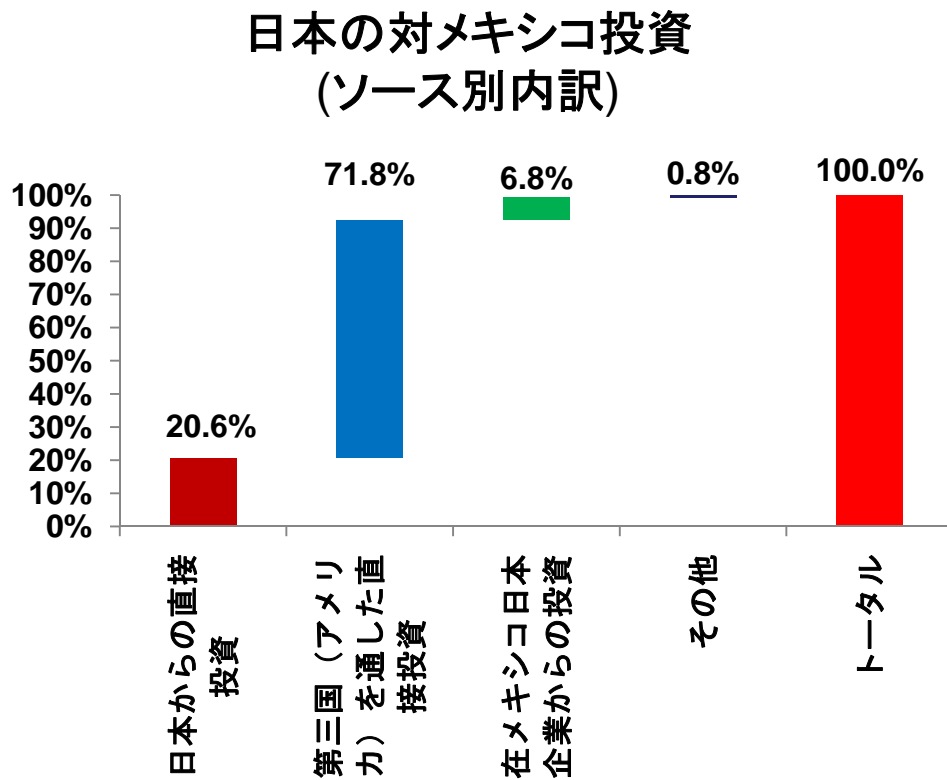
グローバル・サービスに最適のロケーション

- ITサービス供給拠点、コンタクト・センター、テクニカル・サポート・センターを設置する上で、メキシコが北米中のベスト・ロケーション



成功の歴史: メキシコ - 日本

- 日本は、対メキシコ直接投資国別ランキングで第10位。過去10年間の累積では19億ドルの実績。だが、在米子会社(日本企業の米国現地法人)を介した対メキシコ投資額は、その約3.4倍に相当。

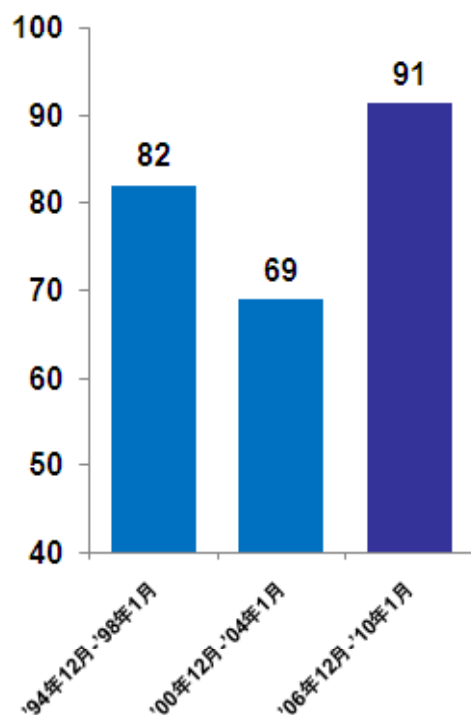


法治体制と治安

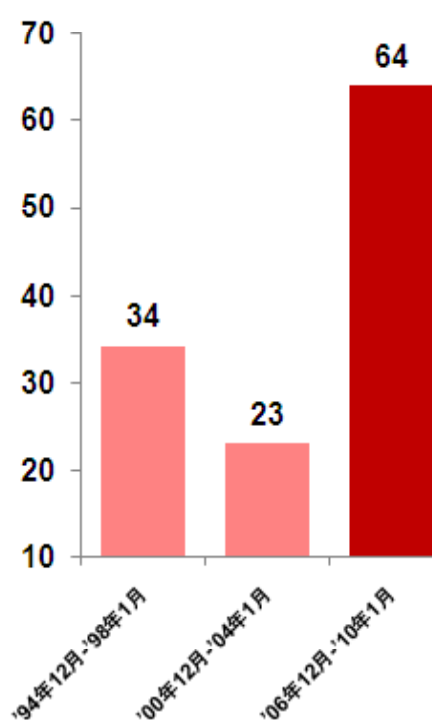


- メキシコは、組織犯罪撲滅運動を実施中。近年は、刑事裁判や治安に関わる制度の近代化を断行。

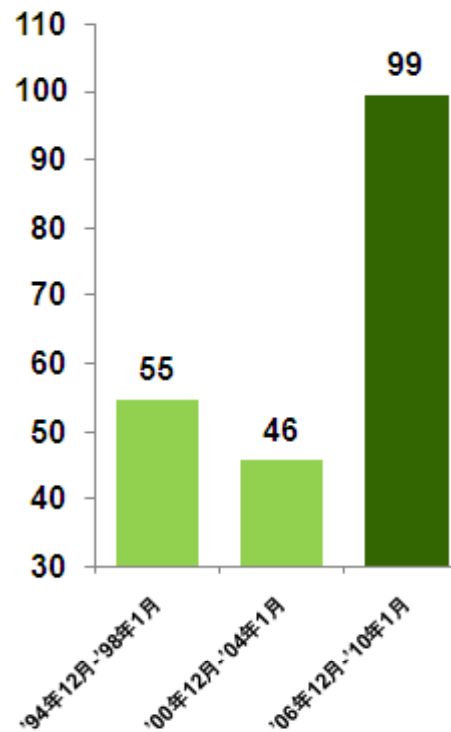
コカインの押収
(単位:トン)



武器の押収
(単位:千個)



犯罪者の
逮捕(人数)



資金の押収
(単位:百万ドル)

